

平成27年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

○ 学力・学習状況調査について

平成27年度の「岡山県学力・学習状況調査」の結果及び市独自の「学力・学習状況調査」の結果について概要をお知らせします。

岡山県の学力・学習状況調査は、本年度も中学校1年生を対象に4月に実施されました。本市は、国語、数学、理科、社会の全教科及び4教科合計について県の平均正答率を上回る結果となりました。

市独自の学力・学習状況調査は、小学校4年生・5年生と中学校2年生を対象に、国語と算数、数学の2教科で実施しました。小学校4年生・5年生と中学校2年生は、いずれも目標値と同等という結果となりました。

両調査を通じて、学習面においては、多くの資料や情報から課題解決に必要な情報を取捨選択したり、条件に合わせて理由等を説明したりする問題について課題が見られます。教科への関心や意欲態度は、学年や教科によりばらつきが見られ、目標値に達していない部分があります。

また、生活面においては、家庭でテレビを見たりゲームをしたりする時間やスマートフォンの使用時間が短くなっています。このことは、学力定着と深く関わっていますので、今後も家庭と連携協力した取り組みを実施していきます。

なお、先般、「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本調査については、今年度も4月に小学校6年生と中学校3年生を対象として実施されました。実施教科は、小学生が国語、算数、理科、中学生が国語、数学、理科の各3教科です。

本市は、小学校・中学校とも全ての教科において国や県の平均正答率を下回る結果となりました。特に小学校では国語に、中学校では数学に課題が見られます。なお、今回の結果について、引き続き分析するとともに、課題の改善に努めていきます。

学力・学習状況調査は、児童生徒の学力面と生活面の実態や課題を的確に把握し、各学校の実情に応じた取り組みや児童生徒の実態に応じた指導を進める上で、貴重な資料となっています。

今後も、学力・学習状況調査の結果を真摯に捉え、教師の授業力と児童生徒の学習意欲の向上に生かしていきます。

○ 児童・生徒の各種スポーツ大会での活躍について

夏季休業期間を中心に開催されている各種スポーツ大会における市内の小中学校児童生徒の主な活躍状況について報告します。

- ・ J K A アジア・オセアニア少年空手道選手権大会 ベスト8
- ・ 若葉カップ全国小学生バドミントン大会団体の部 第3位
- ・ B & G スポーツ大会中国ブロック大会
 - カヌー競技・小学生女子の部 優勝
 - ローボート競技・男子の部 準優勝
- ・ 中国中学校陸上競技選手権大会3000mの部 5位入賞

などの成績をあげたほか、その他の全国大会等においても健闘しています。

教育委員会としても、子どもたちの活躍を大変うれしく思っており、引き続き支援の充実に努めていきたいと考えています。

○ 備前長船刀剣博物館の特別展について

備前長船刀剣博物館では、平成23年度から毎年夏休み期間に合わせて実施している若者向けの刀剣展として、今年も7月18日から9月13日まで「真剣少女の日本刀展」を開催しています。今回の特別展は、実在する名刀の数々を主人公である刀匠が鍛造し、収集していくという「しんけん」と融合したものです。同作には多くの備前の名刀が取り上げられており、本物の備前刀を展示することで、日本刀の聖地・備前長船を紹介しています。

この後、9月18日からは特別展「第10回お守り刀展覧会」の開催を予定しています。昨年に引き続き、「文部科学大臣賞」や「駐日ポーランド共和国大使賞」を授与することが決定しており、今年も駐日ポーランド共和国大使が開会式並びに授賞式のために来館される予定です。

○ 瀬戸内市立美術館の企画展について

瀬戸内市立美術館で6月20日から7月12日まで開催した、「阿藤秀一郎と近代絵画・工芸の巨匠を一堂に 河合コレクション展」には、2,249人の来館者がありました。

また、7月18日から8月30日まで、歌手・長渕剛さんが筆で描いた作品を展示する「開館5周年 長渕剛 詩画展2015」を開催しました。展示室いっぱいまで飾った大型の作品、今回のために描き下ろした「牛窓」という新作の展示や、夫人の志穂美悦子さんによるフラワー

アートも飾られ、テレビ・新聞などで大きく取り上げられました。

また、9月5日から10月25日までは、特別企画展「奥田小由女展
—愛と夢 慈愛のすがた—」を予定しています。奥田小由女さんは現日
展理事長でもある人形作家であり、初期から新作までの作品を展示する
とあって注目を集めています。

美術館で毎週日曜日に行っている館長や学芸員によるギャラリートー
クは、作品に対して良い解説が聞けると、リピートされるお客様も増え
てきました。週末に美術館に行けば作品をより深く知ることができる、
というイメージ作りを今後も図っていきます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成27年8月31日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次